

町行財政の現状と展望

～みんなが笑顔になるまちを目指して～



令和4年1月
奈良県 平群町



1. はじめに

寒の入りとともに、寒さが一段と厳しく感じられるこの頃ですが、皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

平成19年度より開催しております住民説明会ですが、本来なら今年度も様々な行政課題について町民の皆さまと直接お話をし、ご意見を拝聴する場を持たせていただく予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から昨年に引き続き資料の配布のみとさせていただきます。ご理解の程よろしくお願いいたします。

さて長年の悲願でありました、平群駅周辺整備事業が事業完了を迎えました。本町の玄関口にふさわしい中心市街地として都市環境が整備された平群駅前と令和2年4月にオープンした平群町総合文化センターとの相乗効果により、平群駅周辺の活力と賑わい、町内外の人々の交流の場の創出に繋がるものと考えております。

また、町政運営の指針となる「第5次平群町総合計画（計画期間10年）」が、令和4年度で最終年となるため、現在、現行計画の検証作業と住民アンケート調査を実施し、第6次平群町総合計画の策定作業をすすめております。並行して、老朽化した公共施設の長寿命化を図るために、公共施設の総合管理計画の策定作業もすすめており、今後予想される財政面や公共施設の効率的な維持管理の指針を示し、適正な管理に努めてまいります。

町財政の状況は、町税収入の伸び悩みや高齢化等に伴う社会保障費の増加、公共施設の整備等のために発行してきた町債の償還（公債費）により、近年非常に厳しい財政運営を余儀なくされています。また財源不足を補う財政調整基金（貯金）が極めて少ない状況にあります。

令和2年11月には、奈良県から平群町の財政状況の悪化に対して「重症警報」を発令され、町民の皆さまには、ご心配とご迷惑をおかけしていることと存じます。

今後の財政見通しについても、少子高齢化の進展に伴う社会保障費の増加や、新型コロナウイルス感染症の拡大による税収等の減少や更なる対策経費の需要増等が見込まれ、これまで以上に「取捨選択」による財政運営が不可避であります。

財政の健全化に向けた取組みについては、私に課せられた最大の課題であり、議会や町民の皆さまからご意見もいただきながら、町職員一丸となって、不転退の決意で将来にわたる健全な財政運営が確保できるよう取り組んでまいります。

現在抱えている様々な課題に対応するには、町民の皆さまが、平群町の「まちづくり」に参加いただき、行政との協働による「まちづくり」を推進することが必要と考えております。

今後も「誰もが安心して住み続けられる、みんなが笑顔になるまちづくり」を目指して、皆さまと共に力を尽くしてまいりますので、これまで同様、町政に対しまして温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年1月
平群町長 西脇 洋貴



2. 財政状況と健全化に向けた取組み

1 これまでの決算概要（普通会計）

（単位：千円、％）

区 分	H28	H29	H30	R1	R2	
歳入総額	7,675,223	7,045,301	8,948,325	8,468,850	9,359,522	
主なもの	町 税	1,992,092	2,011,874	1,975,807	1,963,328	1,997,794
	地方交付税	2,178,908	2,266,183	2,295,771	2,375,269	2,489,938
	使用料・手数料	179,463	188,751	203,562	185,139	181,139
	国・県支出金	1,209,051	1,010,569	1,409,279	1,352,150	3,357,951
	地方債	1,054,194	722,402	2,002,624	1,640,409	508,937
	うち臨時財政対策債	259,594	278,802	272,224	216,709	212,731
歳出総額	7,484,317	6,821,619	8,846,243	8,285,728	9,101,987	
主なもの	人件費	1,527,888	1,456,507	1,452,634	1,474,995	1,783,468
	物件費	1,526,011	1,397,599	1,337,683	1,373,560	1,276,568
	補助費	496,163	490,301	612,041	667,327	2,556,916
	繰出金	819,232	912,290	790,192	824,366	838,544
	公債費	1,039,422	1,039,685	1,062,838	1,094,144	1,096,179
	扶助費	800,336	785,882	759,451	790,890	854,276
	普通建設事業費	1,258,260	706,943	2,737,606	1,928,510	665,718
	歳入歳出差引	190,906	223,682	102,082	183,122	257,535
①実質収支	168,053	194,652	74,704	170,433	216,139	
②実質単年度収支	△ 261,198	△ 20,913	△ 143,718	145,730	45,706	
③経常収支比率	98.9	96.1	98.9	99.9	95.7	
④実質公債費比率	13.2	14.2	15.6	16.1	16.7	
⑤将来負担比率	219.3	216.1	225.7	241.3	222.8	
地方債(借金) 残高	13,762,085	13,552,117	14,588,362	15,223,538	14,715,543	
基金(積立金) 現在高	354,283	315,497	289,878	360,566	385,237	
うち財政調整基金 現在高	164,479	116,967	93,197	143,198	143,198	

※⑤将来負担比率 令和2年度 222.8は、奈良県下で最低値

決算では【①実質収支】は黒字をキープしています。しかしながら、【③経常収支比率】【④実質公債費比率】【⑤将来負担比率】などの財政指標が示すとおり、全国平均を大きく上回っており、非常に硬直した厳しい財政状況にあります。

現在、奈良県から「財政の重症警報」をうけており、硬直した財政状況の改善と将来負担の軽減を行っていく必要があります。

■■■ 財政用語説明 ■■■

①実質収支	町財政の累積黒字額・△累積赤字額（歳入総額－歳出総額－翌年度繰越額）
②実質単年度収支	単年度における収支から基金の積立、取崩しなどを除いた指標
③経常収支比率	人件費や地方債の返済、社会保障費などの負担の重さ 財政構造の弾力性をみる指標で80～90%が望ましい（R1 全国平均 93.6%）
④実質公債費比率	地方債返済の負担の重さ（R1 全国平均 5.8%） （参考：25%超 早期健全化団体、35%超 財政再生団体）
⑤将来負担比率	地方債残高や土地開発公社の負債など将来の債務負担の大きさ （参考：350%超 早期健全化団体）（R1 全国平均 27.4%）

2 緊急財政健全化計画の推進（令和3～7年度）

将来負担の軽減と、安定した財政基盤の構築を図り、奈良県から発令されている「財政の重症警報」に対応するため「平群町緊急財政健全化計画」を策定しました。

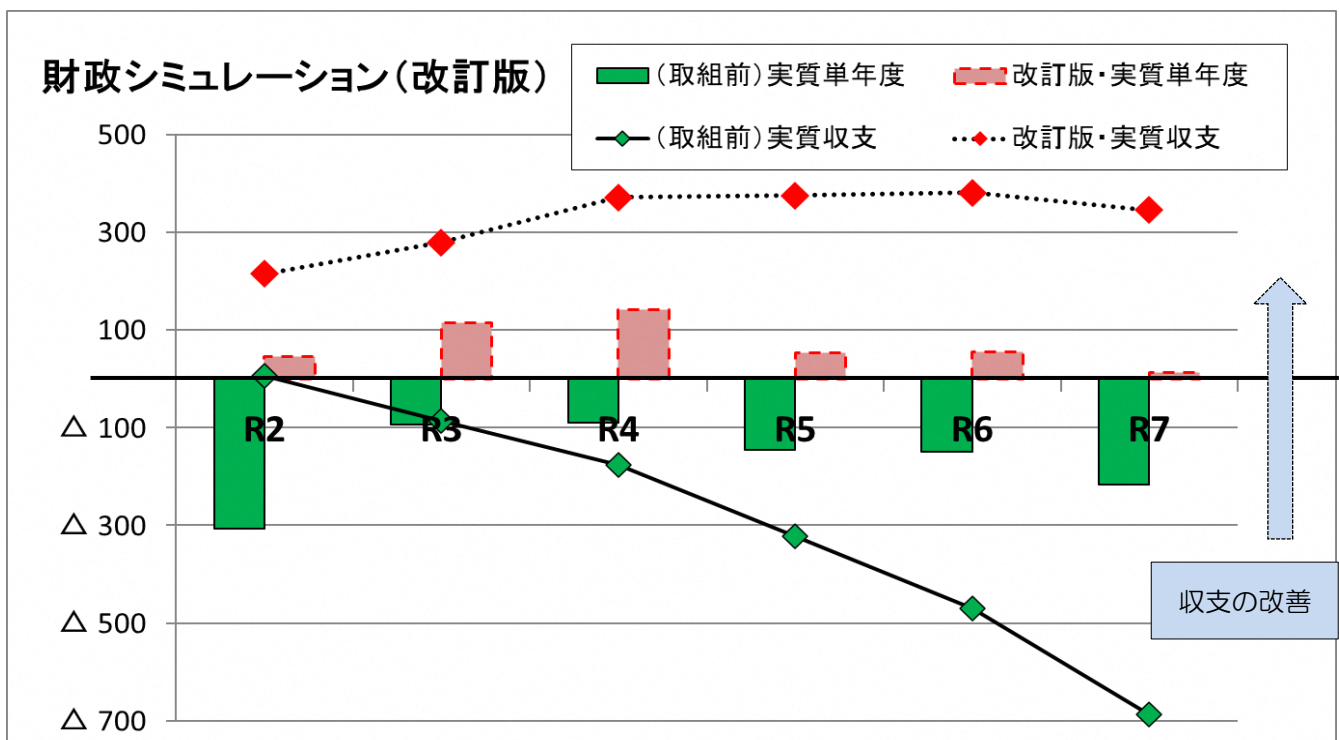
財政健全化の方策（主なもの）		
歳出	経常経費の適正化	臨時的な職員給与の抑制（R3.4～管理職給与カット）、定員管理計画の策定、町債の繰上償還・借り換え、決算剰余金の1/2以上を財政調整基金へ積立 等
	投資的経費	普通建設事業の抑制
	資産運営	公共施設の閉鎖検討、指定管理委託料の抑制 等
	会計事務	団体補助金等の見直し、随意契約の見直しの徹底 等
歳入	税徴収	徴収専門担当の配置による徴収強化、償却資産の適正課税
	資産運用	町有財産（遊休資産）の売却 等
	税源涵養等	ふるさと納税の増収、体育施設等利用料の見直し 等

財政健全化については、行政内部の経費見直し等は当然としても、一定の住民負担や制度廃止等まで切り込んでいかなければなりません。

そのためにできるものはなるべく早期に実施し、重症警報発令の対応として奈良県としっかり協議を重ね、県の支援を受けながら、財政の健全化を確実なものとしてまいります。

【健全化の取組による収支見通し（財政シミュレーション）】

単位：百万円



3. みんなが笑顔になるまちづくり

『子育てしやすいまちづくり』

1 学校 ICT教育環境の整備 ～小・中学校における情報教育の推進～

国のGIGAスクール構想に基づき、学校 ICT教育の推進として整備した児童生徒1人1台の情報端末を活用した授業に取り組んでいます。

また、風邪などの症状により登校を控えている児童や、コロナ禍における学級閉鎖・学校閉鎖等に備えて、オンライン授業を含む学習機会の保障への対応を進めています。



ICTを活用した授業風景



2 快適で安全な学校生活（トイレ改修）

児童・生徒のより良い教育環境整備のため、平群北小学校のトイレ改修（洋式化・老朽化改善）、平群中学校多目的トイレ設置などの改修工事を実施しました。

（トイレ洋式化率（令和3年度末見込み）
平小 100.0%、北小 58.1%、
南小 61.2%、平中 68.3%）



中学校多目的トイレ



北小学校トイレ

『環境循環のまちづくり』

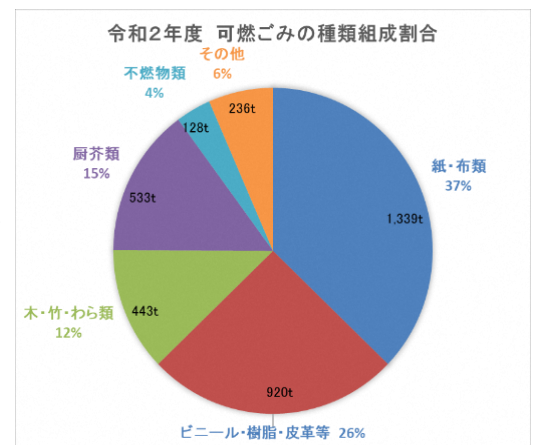
1 ごみ減量化の取組み ～皆さまのご理解とご協力を得てごみ減量化の取組を実施～

【ごみを減量するには？】

焼却量を減らすためには、「厨芥類」（生ごみ）を水切りすることで重量の10%を減らすことができます。「紙・布類」にはリサイクルできる雑誌や服が含まれています。皆さまの可燃ごみ袋に入れる前に、資源化できないか、ひと手間をお願いします。

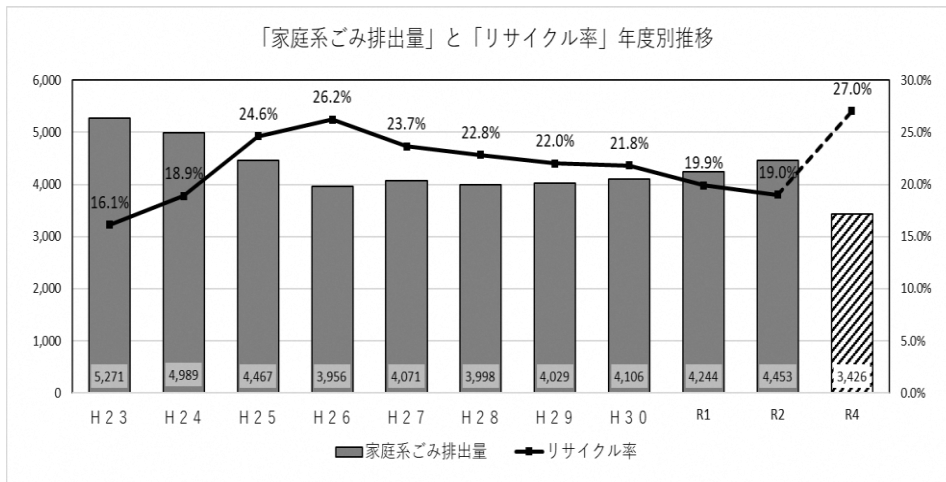
減量に有効な優先順位は、①リデュース（減量）→②リユース（再利用）→③リサイクル（再資源）となります。

皆さまの少しの意識で、地球にやさしい未来の実現を！



《家庭系ごみ排出量△35%（平成23年度比）削減を目指します！》

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R4
家庭系ごみ排出量	5,271	4,989	4,467	3,956	4,071	3,998	4,029	4,106	4,244	4,453	3,426
家庭系ごみ削減率	0%	5.4%	15.3%	24.9%	22.8%	24.2%	23.6%	22.1%	19.5%	15.5%	35.0%
リサイクル率	16.1%	18.9%	24.6%	26.2%	23.7%	22.8%	22.0%	21.8%	19.9%	19.0%	27.0%



資源ゴミ再資源化作業の様子

ごみ減量化の具体的取組み

1. 家庭可燃ごみの有料指定袋制
2. 廃プラ、ペット、トレイの拠点収集
3. かん、ピンのコンテナによる分別収集
4. 使用済小型家電の回収
5. 廃食用油の回収
6. 有価物集団回収助成金
7. 自治会のごみ集積所整備補助
8. 家庭用生ごみ処理機の購入補助
9. ふれあい収集(ごみ出し困難世帯に対するごみ収集)
10. ごみ減量啓発イベント(ごみ減量フェア・環境フェア…R3 中止)
11. 剪定枝の粉碎機の無償貸出
12. 紙資源置場の設置(役場東側公用車駐車場)
13. 食器類、子ども服・子ども用品の窓口引き取り
14. フードドライブへの参加

小型家電リサイクル…パソコンやデジタルカメラ・携帯電話等の小型家電(エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機等の家電リサイクル法の対象製品を除く)にはレアメタルなどの有用金属が含まれています。下記の施設に回収ボックスを設置していますので、回収にご協力ください。

1. プライスカット生駒東山店
2. 平群町役場水道庁舎
3. A コープハートフルめぐり
4. 老人福祉センター「かしのき荘」
5. 平群町役場本庁舎
6. 総合スポーツセンター
7. 道の駅大和路めぐり「くまがしステーション」
8. 保健福祉センター「プリズムめぐり」

『観光・発信のまちづくり』

1 広報 PR

令和3年3月に町公式ホームページを全面リニューアルし、より見やすく、より検索しやすいページになりました。また、6月には公式LINEアカウントを開設し、毎月の広報紙に加え、町民の皆さまへの重要なお知らせを、よりスピーディーに発信しています。公式Facebook、Twitter等では、広報紙に掲載しきれない町の魅力やイベント情報等の発信を行っています。

また、観光分野では、町の魅力を余すことなく伝えるため、スマートフォン対応にリニューアルした観光ホームページ「山のぽっけNAVI.」、Instagramを活用し、知名度アップに繋がります。



町ホームページ



観光ホームページ



【寅年の信貴山郵便ポスト】

日本郵便株式会社との連携協定に基づく事業の取組みとして、信貴山朝護孫子寺のどこかに設置している丸形郵便ポストを黄色い寅模様に塗装し、信貴山の大寅をモチーフにした置物を上部に設置しました。令和4年の寅年にあたり、観光客の誘致と地域経済活性化に繋げていきます。ぜひ、探してみてください。



2 文化財資源の活用

地域住民と連携を図り信貴山城松永屋敷跡周辺の清掃活動を引き続き行い、文化資源の豊かさを広く発信し、今後も地域の活性化に繋げていきます。

令和2年度は、信貴山城松永屋敷跡に階段設置を行い、椿井城跡については、地域住民と協働で、登城道の補修および倒木の撤去を行いました。



3 文化財資源の保全

令和2年度に白石畑の旧家所蔵の古文書調査が完了し、調査成果の一部は、生涯学習講座や公民館教室の文化財調査サポーター養成講座・地域学入門講座で随時紹介しています。

今年度は吉新の旧家所蔵の古文書等調査を実施しています。



古文書の整理作業



江戸時代の庶民信仰資料(お札)

『産業における戦略』

1 商業店舗等の立地誘導～バイパス沿道の活性化～

国道168号線バイパス沿道には、大型商業施設（イオンビッグ等）やコンビニ、ガソリンスタンドが出店され、生活利便施設が立ち並び、さらに宅配便の配送センターが建設されました。

西側についても、現在空閑地となっていますが、沿道サービスゾーンとして利便性が高い暮らしやすい市街化環境の形成を図っていきます。

また、椿井地区においては、商業施設の立地誘導を図っており、有効な土地利用が行われるよう今後も推進していきます。



【道の駅大和路へぐり「くまがしステーション」の役割】

全国に誇れる農産物を数多く栽培している平群町は、自然豊かな地域で生産者が育てた高品質の農産物(小菊、イチゴ、ブドウ、バラなどが、関係者から高い評価を受けています。

農業を基幹産業とする地域経済活性化施設として運営している道の駅大和路へぐり「くまがしステーション」は、国、県が推し進める「道の駅を地方創生、観光の加速拠点に、そして世界ブランドに!」に呼応して、様々な特色的な取組みを進めています。

そして、道の駅大和路へぐり「くまがしステーション」は、時代の変化とともに、その役割を進化してきました。平群町産の農産物の産地直売を通じて、地域内外のあらゆる世代の利用者の交流の場、地元の方々の生活に密着した利用者サービスの向上を図っております。



全景・愛と賑わいのあるふれあい広場

【とれたて市（農産物直売所）】

四季折々の新鮮、安全、安心で旬を感じる平群ブランドを中心とした農産物が生産者から毎日届けられます。売店では、平群特産の古都華ジャム、手作り味噌、純米大吟醸「平群」などの加工品、その他県内産ブランド商品も多数販売し多彩な品揃えです。現在、古都華の聖地として、「古都華商品開発プロジェクト」も進んでいます。

このような地域振興活動を通じて、農産物の第6次産業化と地域ブランド商品化の定着を大きく進め、さらに魅力ある道の駅大和路へぐり「くまがしステーション」へ躍進中です。



平群産農産物と加工品

【レストラン hanana】

新鮮な農産物を使った「とれたてランチ」など、地域ならではのメニューが充実し、古都華パフェ、古都華かき氷の限定メニューも大人気です。

また、当施設は「新型コロナウイルス感染防止対策実施宣言店舗」として奈良県に認められ、レストランは星3つの最高認証をいただきました。お越しいただいた皆さまがさらに安心して利用できるよう現在のコロナ禍に対応したレストランの改修を行っています。



平群産の花々

【今後の展開】

前庭広場を「愛と賑わいのあるふれあい広場」とし、休憩、交流スペース等、ゆったりと憩い楽しんでいただける空間環境整備を着々と行っています。

道の駅の機能を大きく発揮させて、観光、交流、情報発信、地域振興の拠点として、歴史文化・文化財が豊富な平群町と西和地域の良さを利用者に伝え、次のステップに羽ばたき、未来へ継承・発展に向けて、官民連携、協働を進めます。



古都華の聖地・平群オリジナルの箱



とれたてランチ
(週替わり)

古都華パフェとかき氷

『住みよさの追求』

1 平群駅周辺整備事業～平群駅西特定土地区画整理組合～

平成18年度より進めてまいりました平群駅西特定土地区画整理事業は、令和3年12月をもって完了しました。

○事業の概要

事業名称：大和都市計画事業（平群駅西特定土地区画整理事業）
 施 行 者：平群町平群駅西土地区画整理組合
 施行区域：近鉄生駒線平群駅の西側（吉新1丁目～4丁目・下垣内の一部）
 区域面積：12.5ha
 施行期間：平成18年12月～令和3年12月（計画では、令和4年3月まで）
 総事業費：約86億2千万円（計画 75億5千万円）※

※ 事業費の約10億7千万円の増額は、主に物価変動や事業計画の変更による。

○事業のあゆみ

平成元年 土地区画整理事業の事前基礎調査実施
 都市計画決定告示
 平成17年4月 土地区画整理事業及び促進区域
 平成18年3月 都市計画道路平群駅前線、用途地域の変更、
 防火準防火、地区計画
 平成18年12月 組合設立認可 ※奈良県より
 （申請：平成18年9月）
 平成19年 2月 実施計画の承認
 平成23年 8月～ 本工事着工、仮換地指定（平成30年8月）
 平成31年 3月 換地処分公告
 令和 3年 9月 組合解散認可 ※奈良県より



平群駅周辺

○土地利用の比較

（単位：㎡）

	事業前	事業後	差 引
事業全体	125,042	125,042	0
公共用地	37,443	67,685	30,242
町公共用地	8,957	29,571	20,614
道路	8,640	25,734	17,094
公園	0	3,801	3,801
水路	317	36	▲281
町有地	26,519	36,177	9,658
幼稚園	1,321	0	▲1,321
小学校	17,791	20,793	3,002
役場 ほか	4,248	5,403	1,155
文化センター	0	8,481	8,481
将来庁舎用地	0	1,500	1,500
公社用地	3,159	0	▲3,159
国有地(国道、河川)	1,967	1,937	▲30
民有地	87,599	57,357	▲30,242

- ・ 事業着手前と着工後における土地利用の比較として、主に道路や公園といった町公共用地が大きく増進しており、続いて総合文化センターや将来庁舎用地といった町有資産が増加しています。
- ・ 事業実施により、平群駅前にふさわしい公共空間が創出できました。

○財源内訳の変化

（単位：千円）

	事業開始時 (H18当初)	事業完了時	比較(増減)
事業費	7,550,000	8,619,661	1,069,661
国庫支出金	2,458,083	3,416,349	958,266
県支出金	1,006,125	935,110	▲71,015
町負担金※	3,218,792	3,159,773	▲59,019
保留地処分等	867,000	1,108,429	241,429
町補填額	0	257,425	257,425

- ・ この事業の財源は、平群町・国・県、保留地処分金等からなっています。
- ・ 事業開始時と比べ、国補助金を多く受けることができ、町の負担額を圧縮することができました。
- ・ 一方で、保留地処分では計画時から損失が生じており、その補填として町から257,425千円を支出しています。

（※町負担金…3,159,773千円のうち、町債発行3,064,800千円）

2 災害に強いまちづくりと地域の防災力の推進

【災害時における外部給電可能な車両からの電力協力に関する協定】

大規模停電等により電力不足等の事態が発生した際に、避難所への電力供給が可能な車両の貸出等により災害応急業務における電力不足を補うため、奈良トヨペット(株)、ネットヨタ奈良(株)と協定を締結し、防災力の強化を図りました。



【災害時における相互応援に関する協定…河内長野市】

地震・風水害等による大規模な災害が発生し甚大な被害が発生した場合、災害応急対策および復旧対策が円滑に遂行されるよう、相互援助活動に関し河内長野市と協定締結を行いました。

【防災備蓄品の確保と防災協定の推進】

水や食料・衛生品などの防災備蓄品を町指定避難所など 12 箇所の施設で分散備蓄し、災害時に迅速な対応ができるよう努めています。

また、物資の供給や施設の応急復旧のため民間企業 30 社および行政機関 9 団体と防災協定を結び、防災力の強化に努めています。

【自主防災組織の結成】結成 29 団体 組織率 87.7%

災害発生時に大切な「命」を守り、安心して暮らせるまちづくりを推進するため、「共助」の要である地域自主防災組織の結成推進と防災研修会として出前講座などを開催しています。



防災研修でのグループワーク

【地域防災計画等の見直しと防災行政無線の整備】

風水害や地震を想定した地域防災計画を見直し、同時に防災ハザードマップの見直しを行いました。その中で一部避難所や、奈良県が調査した「土砂災害警戒区域」の危険箇所、竜田川沿いの危険区域について、昨年度に改訂を行いました。また、昨年 6 月には、「地域版」を作成し、各戸配布しました。

3 空き家対策

【空き家バンクの活用を】

空き家バンクは、家屋の再生を地域全体に広めることを目的に、個人では、情報収集が困難な空き家について、家屋所有者と入居希望者を結びつける、地域再生に重要な役割を担っています。「周囲の環境」「交通の便」「家庭菜園ができる農地付き」の利用希望者が増加しています。しかし、登録物件が少ない状況であるため、さらに本制度を積極的に運用するための相談支援などを通じて流通促進を図ってまいります。

空き家等の所有者の方で、売却や賃貸等を希望される方は「空き家バンク制度」への登録を活用してください。

4 交通安全対策

毎月1日・15日および春・秋の交通安全週間の朝の通学時に、立哨による通学指導を行っています。

町内各所の通学路等に設置した人形型看板のメンテナンスを、交通安全協会平群町分会が行っています。

また、西和警察署から指導員を招いて、各こども園・小学校で交通安全教室を開催しています。



こども園での交通安全教室

5 コミュニティバス事業～持続可能で環境にもやさしい「公共交通主体のまちづくり」～

コミュニティバスは、①町民の健康維持、②通学支援、③観光支援（地域活性化）等を目的に、平成17年7月より「あいバス」の愛称でスタートしました。現在、町内全域を2ルート（西山間、南北循環）で運行しており、今後も一人でも多くの方に愛され親しまれるよう努めてまいります。また、地域住民への外出支援を目的にコミュニティバスの無料乗車（令和3年11月15日から19日）を実施しました。



6 高齢者の移動支援 ～平群町デマンド型乗合タクシー～

高齢者がいつまでも元気に生きがいをもって、生活することができる交通環境整備を目指し、新たな移動手段として、令和3年10月1日よりデマンド型交通（乗合タクシー）の運行を開始しました。総務防災課で利用登録を受付けています。

対象者： 町内在住の65歳以上の方で、下記いずれかに該当する方

- ①フレイル状態である者
- ②身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳所持者
- ③介護保険制度による要支援、要介護認定者及び事業対象者
- ④運転免許証返納者

運行区域： 平群町内全域

運行日： 月曜日から金曜日（運休日：土日祝、年末年始）

運行時間： 午前9時から午後4時まで

（予約受付時間：平日 午前8時30分から午後3時30分）

利用料金： 1人300円（片道1回の料金）



7 平群町総合文化センター ～文化交流・情報発信・にぎわい創出～

令和2年4月に開館して以後、新型コロナウイルスの影響により十分な活用ができない状況が続いている中で、感染防止対策を講じながら、会議室や研修室では様々な教室やサークル活動が実施され、文化交流の拠点となっています。

また、館内展示スペース等では、町内で活躍されている団体・グループ・個人の作品展示や活動紹介などを順次行っています。平群史蹟を守る会創立50周年記念事業の「平群谷の古墳／平群の山城展」では、町内外から多くの方にお越しいただきました。

くまがしホールでは、昨年度NHKラジオ番組「上方演芸会」の公開録音や歴史講座などが開催されました。また、成人式、小中学校・こども園の行事や選挙の期日前投票所としても活用しています。

どんぐり広場では、住民参加によるイベント（マルシェ・コンサート等）が開催され、にぎわいを創出しています。



平群谷の古墳/
平群の山城展

屋外
コンサート



平群マルシェ



4. 新型コロナウイルス感染症の支援策

1 長引くコロナ禍における「臨時特別給付金」の給付

【子育て世帯への臨時特別給付金】

18歳以下の児童を養育している方を対象とした、児童1人当たり10万円（先行給付金5万円とクーポン5万円相当分）の給付について、平群町では「現金で一括給付」します。（所得制限あり）

○中学生まで（児童手当受給者）：令和3年12月下旬に給付（申請不要）

○高校生・公務員等：対象者には申請書を送付しており、申請があった方から順次給付

【住民税非課税世帯への給付】

令和3年度住民税均等割が非課税である世帯等に対し、1世帯当たり10万円を給付します。詳細は、わかり次第ホームページ等でお知らせします。

2 暮らしを守る生活支援策を実施（平群町独自の支援）

【生活応援クーポン券の発行】

町内店舗で使用可能な「クーポン券」を、令和3年8月に発行しました。

【生活困窮者等への防災備蓄品の支給】

生活支援の一環として、防災備蓄品を支給。災害時における避難所備蓄品を充実しました。

【出産祝い金の支給】

子育てにかかる生活支援として、新生児一人当たり10万円の出産祝い金を支給しています。

3 感染予防対策

【学校・こども園等における感染症対策】

- 中学校体育館換気扇設置など改修工事
3密対策を実施した快適な空間の創造として、体育館における空調設備（換気扇 8 台）の設置を行います（令和 4 年 2 月完了予定）
- 小中学校・こども園トイレに自動水栓を設置
感染症予防対策として、手をかざすだけで水がでる非接触型自動水栓を設置しました。衛生的でスムーズな手洗いができます。



【生駒郡 PCR 検査所の運営負担金】

生駒郡 4 町による PCR 検査所の開所・運営に関する負担金

4 「新しい生活様式」への環境整備など

【図書館 ～IC タグシステムの導入～】

令和 3 年度末までに町立図書館の蔵書約 6 万冊を IC タグ（電子荷札）で管理し、貸し出し業務を自動化する最先端のシステムを導入します。

これにより読み取り機に図書を置くだけで貸し出しができるようになります。あわせて、入口にセキュリティゲートを設置し、図書を守ります。



【行政のデジタル化、新しい行政スタイルの実践】

行政手続きのオンライン化や電子処理化を推進するため、情報システムに高度なセキュリティを構築します。このことにより、外部とのオンライン会議や出先機関での議会傍聴といった移動・接触機会の低減と密度の高いコミュニケーションとを両立します。

また、町内名所のバーチャルでの観光を促進するため、町観光ホームページを充実します。

5 医療機関への慰労・ワクチン接種の促進

【医療機関に対するコロナ対策物品の配布】

コロナ対策の最前線にいる医療機関に対し、安心して施設運営を行ってもらうため、感染症対策に必要な物品を配布します。

【ワクチン接種の促進】

町内におけるワクチン接種を円滑におこなうため、ワクチン接種に必要な接種費用を一部助成し、医療機関に支払います。

6 新型コロナウイルスワクチンの接種

ワクチンの集団接種を、「プリズムめぐり」にて、令和3年5月から10月まで行いました。3回目の接種は、2回目接種終了から概ね8ヶ月経過した方が対象となります。対象者には随時、案内文書を送付します。



5. 平群町制施行50周年記念事業

平群町は令和3年2月1日に町制50周年を迎えました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の関係で記念式典をはじめ様々な行事やイベントを中止しましたが、町民の皆さまとともに平群町の更なる発展に向けてまち全体で50周年を祝うために、記念事業を実施しました。

【ホームページにて50周年記念ページの作成】

50年の軌跡、現在までに行った記念事業を紹介しています。

また、ふるさと写真館のコーナーでは、町民の皆さまから募集した写真や町に保管してあったものなど、懐かしい貴重な写真がご覧いただけます。



50周年記念ページ

【ロゴマークの作成】

町章を大きくかたどり、緑豊かなまちをイメージした50周年記念ロゴマークを作成しました。



【懸垂幕、PRマグネットの作成】

役場本庁舎とプリズムめぐりに50周年を祝う懸垂幕を設置し、また公用車には、記念マグネットを貼付しました。



【ご当地ナンバープレート】

役場若手職員によるプロジェクトチームを結成し、平群町を広くPRできるように現地視察や会議を重ねて職員の手でデザインしました。令和3年2月より交付しています。



町勢要覧

【町勢要覧】

平群町の情報をたっぷり詰め込んだ町勢要覧を作成し、住民の皆さまにも「我が町の魅力」を再発見してもらえるよう全戸配布しました。WEB版はホームページ上にて公開しています。

【お祝い給食】

50周年を記念して、縁起が良いとされている「鯛」を使用したお祝いメニューを実施しました(鯛は愛媛県より無償提供)。第2弾では奈良県産の粉末茶を使って奈良メニューを提供しました。



【妖怪書家 ^{おうか} 逢香さんによる記念作品展示】

令和3年6月に奈良テレビで放送された「加藤雅也の角角鹿鹿」内でサプライズ披露された作品を総合文化センターで展示しました。「50」の文字には信貴山朝護孫子寺大寅の尻尾がデザインされており、周りには特産品「平群の小菊」花びらが1枚ずつ丁寧に墨で描かれた作品です。

展示期間中は町内外から多くの方が鑑賞しに来られました。



【奈良のむかしばなし】パネル展】

県民だより奈良に連載された「奈良むかしばなし」より、平群町に関連した作品のパネルと資料を展示しました。



【記念切手の作成】

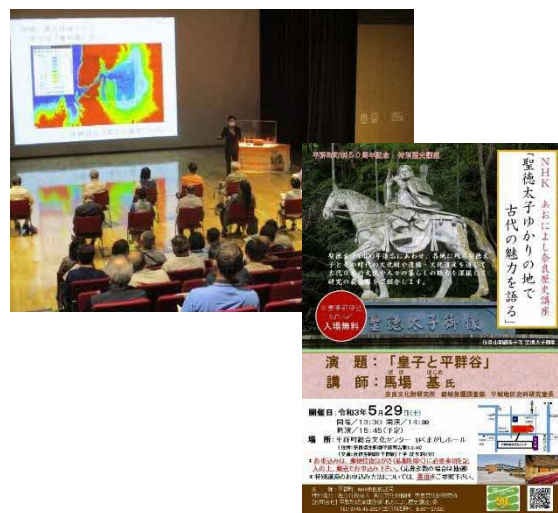
郵便局との連携協定により、50周年記念フレーム切手を作成しました。台紙部分は平群町の歴史を感じていただけるデザインになっており、切手シートは平群の四季が感じられる景色を並べました。

この切手シートは、現在、町内郵便局で、1,330円/枚で販売しております。

【NHK あおによし奈良歴史講座

～聖徳太子ゆかりの地で古代の魅力を語る～

令和3年5月に、NHK奈良放送局と共催による聖徳太子1400年遠忌にあわせた特別歴史講座を実施しました。奈良文化財研究所に特別協力をいただき、「皇子と平群谷」という演題で、町内に残る聖徳太子とその時代の文化財や遺構・文化遺産を通じて当時の文化や人々の暮らしの魅力を深掘りした研究の最前線を発表されました。



ご意見をお持ちの方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。なお、お寄せいただいたご意見に対して個別に返答はいたしません。今後の行政運営の参考とさせていただきます。

編集・発行

奈良県 平群町

TEL 0745-45-1001

FAX 0745-45-6619

URL <http://www.town.heguri.nara.jp>

メール info@town.heguri.nara.jp